

|  |   |      |            |     |   |
|--|---|------|------------|-----|---|
| 年度 2007 学期 前期  | 曜日・校時 火1/火2/水1/水2                                       | 必修選択 | 必修         | 単位数 | 1 |
| 授業科目/(英語名)   | 中国語<br>Chinese  |      |            |     |   |
| 対象年次   | 1年次   | 講義形態 | 演習         | 教室  |   |
| 対象学生(クラス等)   | 火1:La・b、火2:E6、水1:M11・12、水2:P18・19+F二                    | 科目分類 | 外国語科目(中国語) |     |   |
| 担当教員(科目責任者)/Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー<br>担当教員: 劉 愛莉 /研究室: 非常勤講師控室<br>/オフィスアワー: 火曜日、水曜日 12:00~13:00  |   |      |            |     |   |
| 担当教員(オムニバス科目等)   |   |      |            |     |   |
| 授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標<br>授業のねらい: 中国語の発音を身に付け、簡単な中国語会話ができるような基礎力を養う。<br><br>授業方法: 発音練習、本文、文法の説明。「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などの練習をする。<br><br>授業到達目標: 中国語の正しい発音をしっかり習得し、漢字と単語を覚え、初歩的な中国語文法を習得する。   |   |      |            |     |   |
| 授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)<br>授業内容(概要)<br>内容:最初の5回の授業で中国語の発音(母音、子音、声調、音節)を習得し、第6回目から単語、文法、説明文、会話文(自己紹介の仕方、家族の紹介、年齢の言い方)などを勉強し、練習問題にも取り組む。テキストの内容に即して中国文化にも触れる。<br><br>第1回 中国語について 単母音と声調<br>第2回 母音(二重母音、三重母音)<br>第3回 子音<br>第4回 n ngをもつ母音 音節とその読み方<br>第5回 発音のまとめと辞書の使い方 簡単な挨拶<br>第6回 第1課「自己紹介」<br>第7回 人称代詞、名前の尋ね方、答え方 “是”構文<br>第8回 第2課「私は大学生です」<br>第9回 疑問詞を使った疑問文 副詞“也”“都” 助詞“的”の用法<br>第10回 第3課「私たちの学校」<br>第11回 指示代詞 存在を表す動詞“有”“在” 方位詞<br>第12回 第4課「私の家族」<br>第13回 所有を表す動詞“有”、家族や年齢の尋ねかた “量詞”<br>第14回 総合復習<br>第15回 定期試験 |   |      |            |     |   |
| キーワード  | 発音 会話 文法 練習問題   |      |            |     |   |
| 教科書・教材・参考書   | テキスト:『実用中国語10課』 (白帝社)<br><br>中国語辞書あるいは中国語電子辞書 (出版社指定なし) |      |            |     |   |
| 成績評価の方法・基準等  | 授業への参加・態度20%<br>宿題、個人発表など20%<br>定期口頭・筆記試験60%。           |      |            |     |   |
| 受講要件(履修条件)   | 出席重視し且つ積極的に授業に参加すること。                                   |      |            |     |   |
| 本科目の位置づけ/学習・教育目標   |   |      |            |     |   |
| 備考(準備学習等)  | 予習、復習が必要。習った単語を覚え、宿題を完成すること。<br>教科書、筆記用具、辞書必携。          |      |            |     |   |